

2025年度学力試験問題の「出題意図」・「評価ポイント」について

小論文 【夜間主コース 学校推薦型選抜・社会人入試】 【昼間コース 帰国子女入試】		
出題意図		評価ポイント
<p>この問題は、20世紀以降の消費社会の特徴とそれが内包する課題、人びとの行動様式に及ぼす影響について、消費とは異なる行動様式との比較の視点から批判的に捉え直すことができるかを問うものである。問題文を通して、何らかの目的ないし実利性を求める行動を重視する社会の特徴を理解したうえで、その課題について、「浪費」や「鑑賞」といった費用対効果とは異なる観点からどのような議論を展開できるか。こうした社会科学的な資質を問うことを、この問題では意図している。</p>	問1	<ul style="list-style-type: none"> ・「浪費」「鑑賞」との対比において「消費」の特徴を説明していること。 ・「消費」が、対象物の外にある目的を達成するための手段であることに言及していること。 ・「浪費＝物の受け取り／消費＝観念の受け取り」のみの要約、「浪費＝終わりがある／消費＝終わりが無い」のみの要約は、【2】の趣旨を捉えていないので減点。
	問2	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の3点について言及していること。 <ol style="list-style-type: none"> ① 物そのものよりもそれに付随する観念や実利性に着目することによって生じる大量生産・大量消費・大量投棄など、消費社会が内包する問題点。 ② 人びとがそうした消費行動を取ってしまう背景。 ③ 考えられる対応策。 ・「克服の方途」について、できる限り具体的に説明する試みがなされていること。 ・主張の理由ないし根拠が明確に述べられていること。 ・筆者の議論を踏まえたうえで自らの主張を展開していること。